

建設 防災 ボランティアニュース 第 24 号

東京都総合防災訓練への参加

平成19年度の東京都総合防災訓練は、9月1日(土)の「防災の日」に、首都直下を震源とする地震災害を想定し、昭島市・福生市・武蔵村山市・羽村市・瑞穂町において、4市1町の相互応援、東京都及び各防災機関の連携を構築するため、多数の地域住民の参加のもとに実践的な訓練が行われました。

今回、防災ボランティア協会としては、北北建の水防工法設置体験等訓練(昭島市会場)・道路障害物除去訓練(武蔵村山市会場)、西建の土砂災害応急対応訓練(福生市会場)・道路被害状況報告訓練(羽村市会場)に、北北建班と西建班を主体とする多摩地域の防災ボランティア会員21名が参加いたしました。

例年になく夏の暑さに、熱中症が心配されたのですが、幸いにも当日は曇り時々小雨模様で、涼しい気候となり、参加者全員無事に訓練を終了することができました。

参加会員の皆様方には、土曜日早朝からの訓練に、また事務所との事前の打合せ、リハーサル訓練などにも、熱心にご参加いただき感謝申し上げます。 担当理事 本間 弘

1. 北北建の訓練

建設防災ボランティア北北建班では、管内の昭島市会場に 12 名・武蔵村山市会場に5名が参加した。

(1)昭島市会場(カインズホーム駐車場)

本年もまた、能登沖地震、中越沖地震に加え各地での集中豪雨等による洪水、土砂災害が頻発し多くの人的被害や市民生活、社会資本等々に深刻な被害が多発しております。

近年は「災害は忘れた頃にやって来る」から忘れる暇が無いほどやって来る、と言われるほど常襲的な感があります。これらの多くは、抑

止、予測が困難であるため、被害の軽減、発災後の迅速な対応が重要な課題となっております。

今年で発足10年の節目を迎えた我が建設ボランティア協会もこれらの課題に対処し、研鑽の場とすべく、防災訓練に参加しました。

当防災訓練は「自分たちの生活や街は自分たちで守る」という「自助共助」の理念をテーマに、地元自治会や中高生の生徒の皆さんが水防の基本である、土のう造りや、土のうを使用した「釜段工法」「積土のう」の設置や、水のう造り等を実際に体験し、「いざ」という時に備え、対処出来る様習得していただくため、我々ボランティアは瑞雲中学校体育クラブ系の45名の生徒の皆さんに土のう造りを指導する内容となっております。



(土のう造りを中学生に指導する会員)

9月1日の訓練当日は水防訓練日和となり、小雨のちらつくなか、野崎北々建副所長の開始号令のもと、事前練習成果の心配をよそに、生徒たちの熱心で、ひたむきで、のみこみの速い行動により、訓練スケジュールが進み石原都知事の講評、野崎副所長の終了の挨拶で無事訓練終了となりました。

この間、土のう造りに当たった生徒たちの素晴らしい行動に、いざ災害となってもこれらの訓練を継続していけば災害時の備えの一端に

充分なり得る、との思いを参加者一同強く感じさせられたのではないのでしょうか。



(局長、総務部長、所長、副所長と参加会員)

この後立川に場所を移し一献傾けながら連帯を確かめ・高め、散会となりました。最後に今回の訓練に当たり事前の練習、準備等々お世話になりました北々建の皆様にお礼申し上げます。

以下今回の参加ボランティアの皆さんの一言を報告させていただき、終わりとします。皆様ご苦労様でした。

- ・加藤基雄 小雨の中でしたが、しのぎ易い天気に恵まれました。
- ・中田勝司 中学生と一緒に作業出来て楽しい1日でした。
- ・本間 弘 生徒たちは土のう作りをすぐ習得し、作業が早いのに感心した。余裕が有ったので他班の作業も見学させられたら良かったと思う。
- ・丸岡敏夫 中学生が楽しみながら土のう造りをしている姿は頼もしい感じ。これを機会に水害への対策を学ばせてほしい。
- ・名和良雄 生徒たちは熱心でした。(仄聞)
- ・佐藤清美 生徒たちが大変熱心に土のう造りに励んでいたのに感心しました。
- ・武内利夫 リハーサルの日は猛暑でしたが本番は涼しく老身には有難い訓練でした。
- ・平瀬秀一 中学生たちは大変物覚えが早く手際よく土のう造りをしたのには感心した。
- ・来原 昌 生徒たちにも色んな作業を経験させられれば良かった。
- ・三沢英夫 生徒諸君にとって初めての経験だったと思いますが大変素直に指示に従ってくれました。
- ・篠原憲一 久しぶりに孫のような子供と作業

した。この若者の技術と知識が我々老人を助けてくれると思うが、この技術を失わないことを祈る。
北々建班 中山 功

(2) 武蔵村山市会場(市総合運動場)

最寄駅の八高線箱根ヶ崎から 3km、武蔵村山市総合運動場が防災訓練会場だ。一週間前の予行演習終了後、メンバーの結成式を行い訓練への決意を新たに参加しました。

交通の便は悪く、堀内、矢野、笹村の南西建班3氏は北北建に朝7時に集合、マイクロバスで会場へ。遠方の小川氏と車が便利な筆者岩田は、特別に駐車場を確保していただき、マイカーで8時前に会場へ。消防、市、地元民、警察、医師会等訓練参加者が次々と参集して来る。

都北々建は7時から、北多摩建設業協会の協力により、土砂崩壊現場の作成だ。ダンプ1台分の土を2車線道路の半分にぶちまけ、中古車3台を1車線に放置し、その上に発生街路灯と切倒したプラタナス2本を置き、見事な訓練場が完成だ。

9時から全体訓練開始、総本部長は元建設局総務部長の谷川副知事、建設局本部長は米田担当部長、所本部長は池田所長。各参加団体がデモンストレーションを行う。消防団も小型消防自動車を持っているのを発見。

10時から消防のヘリコプターによる家屋内被災者の救出が始まる。50m 位離れて見る救助用ヘリコプターは形も爆音も大きく、迫力満点だ。飛来しホバーリング、隊員がロープで降下、被災者を吊り上げ、第二運動場の基地へ搬送を続ける。



(倒木撤去現場の参加ボランティア会員)

同時並行で市が倒木の撤去を始める。ここで巡回していた防災ボランティアが倒木撤去状況を防災無線で所本部へ報告する。会場

全体への案内アナウンスは行っているが、ヘリコプターの爆音でかき消され訓練進行が確認できず、報告のタイミングがずれる。次に土砂崩壊現場の車に閉じ込められた怪我人を、消防の救助隊が大型カッターで車のドア、屋根、フロントガラスを切断して救出、担架に固定して運び出す。再び防災無線で報告。

これを受けて、北々建の指示で倒木を切断撤去、車移動、さらに土砂を掻き寄せ1車線確保。巡回車で安全通行を確認する。その後消防車が通り抜け、発生した山火事の消火だ、手馴れた消火訓練で20本のホースから一斉放水は見事であった。

今回訓練のテーマは「連携」である。市・消防・都とが入組んでの訓練は、正に連携の実践であった。しかし、事前調整がない本災害時の急な連携には心配がある。やはり訓練が必要と実感した。最後の講評で副知事が市民に対し、自助・共助を強調していた。活躍した消防等行政に対しても、公助の使命を語って欲しかった。

壮大な訓練の調整、準備をされた北々建の皆さんには敬意を表するとともに、駐車場の確保、ヘルメットの保管、半長靴の貸与等大変お世話になり、お礼申し上げます。

北々建班 岩田 一昭

2. 西建の訓練

建設防災ボランティア西建班では、管内の福生市・羽村市で行なわれた訓練にそれぞれ2名が参加した。当日は連日の猛暑が陰を潜め、小ぬか雨が降る肌寒い位の気候だったがスムーズに訓練が進行し、予定時間に完了した。西建管内2会場の訓練状況を報告する。

(1) 福生市会場(市立第七小学校)

建設局から道家局長、総務部吉原参事、河川部石井防災課長他防災課職員3名、西建から柴田所長、野村工事第二課長他工事第二課職員5名、防災ボランティア・伊藤浩之、岸忠夫が参加した。

参加機関は建設局の他、都水道局・下水道局、東京消防庁、警視庁、東京電力、NTT、等の防災機関に加えて NPO 法人日本救助犬協会が参加した。

訓練は、9時に災害救助犬による訓練からスタートし、救助犬が見事家に閉じ込められた

人を見つけると見学者から大きな拍手が起こった。次に西建による土砂災害応急対応訓練が行なわれ防災ボランティアの2名もこの訓練に参加した。



(福生市会場全景)

野村事務所本部長の訓示を受け、参加者が各持ち場に待機し、作戦班長である谷口補佐の指示のもと被害箇所の点検を行なってから「重機搬入ロードマット敷設訓練」「崩落防止シート張り訓練」「仮防護柵設置訓練」「大型土のう設置訓練」を協力会社と共に実施した。

最後に総括責任者である柴田所長から「西建には多数の危険斜面があり、万が一災害が起きたときには本日の経験を生かし適切に対処するように」との講評を受け西建の訓練は終了した。



(西建職員と参加ボランティア会員)

訓練途中には山口副知事が西建の訓練を視察し、また、建設局が設置したパネルコーナーで新潟中越沖地震の状況写真や、土砂災害に対する東京都の取組みなどのパネルを石井防災課長の説明に耳を傾けながら見て下さいました。

それぞれの機関が順次訓練を行い、最後に東京消防庁が火災のため屋上に避難した人

をはしご車で救助するという訓練や消防団の放水訓練で全体のスケジュールを完了した。

予定どおり11時30分から各防災機関の参加者が整列し、山口副知事、野沢福生市長、原島福生市議会議長の全体講評を受け本日の合同訓練は終了した。西建班 岸 忠夫

(2)羽村市会場(市内富士見公園)

建設局から総務部安藤参事、企画調整室沖補佐、保全課職員、西建からは宮本管理課長、庶務課佐藤補佐、福生工区から中村工区長はじめ3名、防災ボランティア・小山弘光、松本幹男が参加した。



(羽村市会場全景)

西建の訓練は、9月1日9時00分に発生した地震により、対策本部(所本部長宮本管理課長)を設置して、管内の被害状況を把握するという想定で実施された。9時31分所本部長から「本日は防災ボランティアと連携、協力して、緊急啓開路線に発生した陥没や家屋等の倒壊の被害状況を調査する実践的な訓練です」との訓示を受け訓練をスタートした。



(西建職員と参加ボランティア会員)

福生工区では発災直後から工区長以下で管内の道路を道路巡回車で点検、防災ボラン

ティアの2名は徒歩で点検を完了しており、その報告を所本部長に報告した。

また、西建災害対策本部を代表して、中村工区長から羽村市災害本部長に「羽村市内全路線において緊急車、支援物資輸送車の通行は可能である」との報告を行い、西建の訓練は終了した。

その後、各防災機関の訓練が全て終了し、11時15分より猪瀬副知事、並木羽村市長から全体講評があり、予定どおり羽村市会場の訓練は全て終了した。西建班 松本 幹男

協会からのお知らせ

1. 入会々員の紹介

- ・ 内山 一夫 (北南建・8/1)
- ・ 田戸 哲夫 (六建・8/1)
- ・ 阿久津 勉 (六建・8/1)
- ・ 黒淵 弘二 (四建・8/1)
- ・ 吉田 安輝 (南西建・8/16)
- ・ 森田 秀樹 (五建・8/16)
- ・ 伊藤 政行 (四建・9/1) 敬称略以上7名の方です。()は参集事務所・入会月日

2. 19年度講習会

砂防講習会は、12月中に開催する予定で河川部と調整中です。

救急救命講習会は、11月に予定していましたが、会場の都合により1月23日(水)13時から新宿消防署で、未受講会員を対象として開催します。

なお、既受講会員を対象とした更新講習会は、20年度に開催予定です。

担当理事 二宮 克弘

3. 19年度施設見学会

見学会は、年明けの2月頃に開催する予定です。 担当理事 小山 幸也、堀中 逸

4. 会員の連絡先訂正

小森和雄(西部公園班) 049-254-0374

発行人: 沼尻 執

発行: 東京都建設防災ボランティア協会

所在地: 東京都新宿区西新宿2-3-1

財団法人 東京都道路整備保全公社内

編集: 加藤 基雄、中田 勝司、丸岡 敏夫